



令和6年第4回苅田町議会定例会

町政報告

遠田町長は令和6年苅田町議会9月定例会開会日の8月27日、次のように町政報告を行いました。(文字数の関係で内容を一部省略しています)

トピック① 南海トラフ地震臨時情報の発表に伴う対応

8月8日、日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生し、同日、気象庁が南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)を初めて発表しました。

町ではこの発表を受け、住民向けにLINEやホームページを通じて、「地震に備えた防災対応の呼びかけ」を行い、職員向けに「災害時初動マニュアル」の再確認等、地震への備えを行うよう周知しました。

政府からの「特別な注意の呼びかけ」は8月15日で終了しましたが、引き続き、日頃から地震・津波への備えを行うよう呼びかけて参ります。

トピック② 令和5年度一般会計決算

歳入につきましては、前年度と比べて15億1610万2千円増の180億7743万2千円、歳出につきましては、7億9675万9千円増の166億8563万4千円となりました。

翌年度への繰越財源を除いた実質収支額は、12億7533万6千円の黒字となりました。

実質単年度収支は、10億256万6千円の黒字となり、3年ぶりの黒字決算となりました。

歳入の内訳は、町民税の個人分、法人分、固定資産税がそれぞれ増となったことなどにより、町税全体では、7億1197万2千円の増収となりました。

歳出の内訳について経費別に説明します。

義務的経費は、職員人件費の増や、価格高騰重点支援給付金の給付による扶助費の増などにより、前年度と比べて、4億8743万9千円の増となりました。

一般行政経費は、前年度に実施した水道基本料金減免事業の終了などにより、前年度と比べて2億9890万9千円の減となりました。

投資的経費は、苅田中学校長寿命化改修事業や、総合体育館改修事業などにより、前年度と比べて、12億9666万1千円の増となりました。

なお、財政の弾力性を判断する

指標である、経常収支比率は、80.5%、財政力指数は、1.252となつています。

「地方公共団体の財政健全化に関する法律」に基づく健全化判断比率は、実質公債費比率が9.5%で、前年度と比べて増となりましたが、将来負担比率が16.4%となっており、前年度と比べて改善しています。

トピック③ 町民説明会の開催

7月1日から11日までの4日間、町民説明会を開催しました。町政の現状や課題、今後の取り組みなどを、町民の皆様へ報告しました。三原文化会館、北公民館、小波瀬コミュニティセンター、西部公民館の4か所で、合わせて82名の方の参加があり、多くの方から町政に関するご意見をいただきました。今後の町政運営に生かして参ります。

トピック④ とびうめネットの協定締結

7月31日に、福岡県医師会の運用する「診療情報ネットワーク」の利用拡大のための連携及び協力に関する協定を福岡県、福岡県医師会、行

橋市、みやこ町、京都医師会、苅田町の6者で締結しました。

町民の方がとびうめネットに登録することにより、病歴やアレルギーの有無などの医療情報が救急隊や地域の医療機関、県内の救急病院で共有され、地域外で救急搬送された場合でも迅速かつ適切な処置を受けることができるようになります。

今後は、町民の皆様へのとびうめネットへの登録、利用拡大の促進に取り組んで参ります。

トピック⑤ クーリングシエルの開設

危険な暑さから身を守り、熱中症による健康被害の発生を防ぐために、クーリングシエルの開設しました。現在、公共施設7か所を指定し、各施設には、ポスターを掲示するとともに、広報紙・HP・LINEで周知を行いました。

トピック⑥ 総合体育館のリニューアル

苅田町総合体育館は、大規模改修工事を終え、8月25日から一般利用が開始されました。

改修工事に伴い、耐震基準に適合する耐震工事、空調設備取替え、太陽光発電設置、アリーナ床面のクッション性のある素材への変更等を行いました。

リニューアルにより、安全性や利便性を向上させ、町民の皆様がより快適に利用できる環境となりました。

トピック⑦ 北九州空港の貨物便の状況

ヤマトグループが1日4便運航していましたが、国内貨物定期便が、8月1日から1日6便に増便となりました。24時間空港である北九州空港の利点を生かした深夜便の設定により、高鮮度な商品を、スピーディーに国内外へ届けることが可能となりました。

滑走路3km延長事業と共に、今回の増便は北九州空港の貨物拠点化を加速させるものであり、今後も更なる発展が期待されます。

苅田町といたしまして、福岡県、北九州市と協力・連携しながら、路線誘致、貨物拠点化、利用促進のPR活動に取り組んで参ります。※紙面の都合により、行事報告は省略させていただきます。

苅田町合併70周年事業のお知らせ

苅田町は、1955(昭和30)年に、旧苅田町・小波瀬村・白川村が合併して誕生し、令和7年1月1日に合併70周年を迎えます。70周年を町民の皆様と祝い、先人に感謝するためロゴマークやキャッチフレーズが決まりました。次号(10月25日号)より連載を行いますので、ぜひご覧ください。

70周年記念ロゴマーク

苅田町を代表するモチーフをカラフルに散りばめ、70の形を形成。空港連絡橋で「繋ぐ(過去～未来)・(陸・海・空)」を表現。



キャッチフレーズ

輝く70年、つなげよう 未来への航路

70周年記念事業を開催

日にち	イベント名
10月10日	広谷湿原 現地見学・保全
10月14日	おかあさんといっしょ宅配便「ファンターネ!小劇場」
10月26日	広谷湿原 デジタル散策

11月以降のイベントは次号でお知らせします。

●問/企画課 ☎093・434・1921